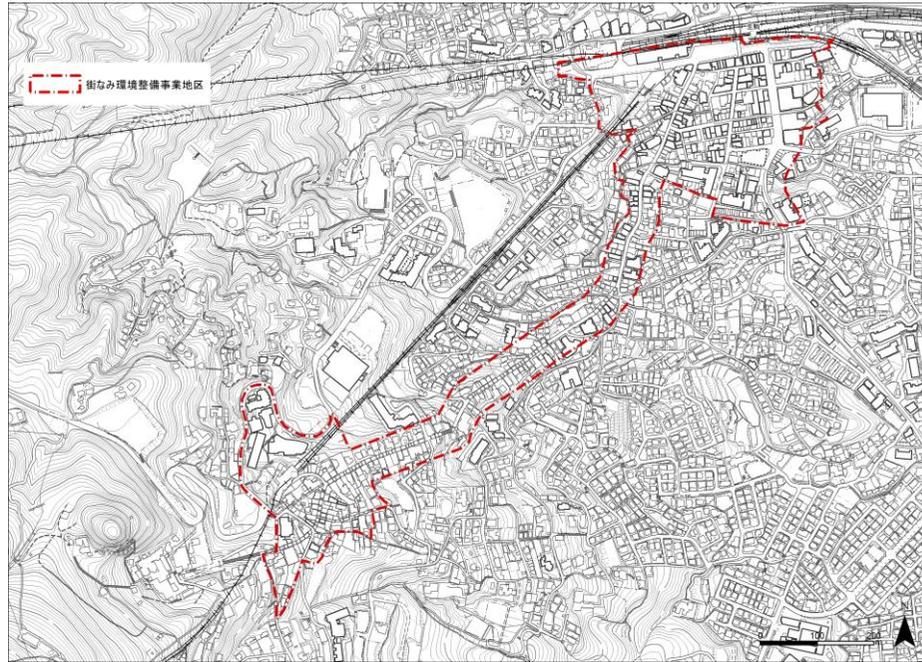




## その他案件（2）

街なみ環境整備事業計画につ  
いて〈報告〉

# 街なみ環境整備事業地区と方針



## 街なみ環境整備事業の基本方針

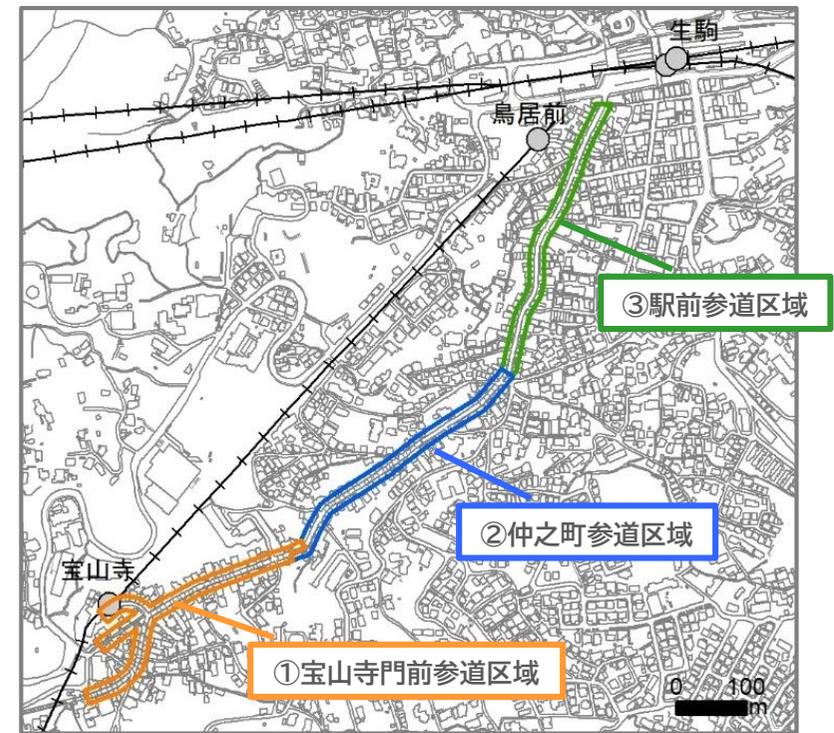
宝山寺の参道として受け継がれてきた道とその沿道に形成された街並み、  
生駒市の玄関口にふさわしく、統一感のあるシンプルで洗練された街並みを創出する

### (基本的な考え方)

- ①受け継がれてきた道の趣きの保全
- ②参道らしいにぎわいの演出
- ③回遊の促進によるにぎわいと交流の創出
- ④参道からの山並みや街並みへの眺望の保全

# 整備方針

街なみ環境整備事業地区を細分化し、  
それぞれの地区の課題に即した修景及び  
整備を行う。



地区分類		道路等の修景整備	建物の修景
景観形成地区 (宝山寺参道沿道地区)	①宝山寺門前参道区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の修景整備</li> <li>・サインの設置</li> <li>・公園の修景整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成地区の指定と地区内におけるまちなみに合った改修、建替における補助金の活用</li> </ul>
	②仲之町参道区域	—	
	③駅前参道区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（参道筋）の修景整備</li> </ul>	
景観形成地区外		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路（さくら通り）の修景整備</li> </ul>	

# 整備計画図

## 街路等美装化整備イメージ

①参道路線（歩者共存）の修景イメージ  
 生駒駅から宝山寺を結ぶ参道筋として、参詣道の歴史性や歩行性を高めた路線として修景整備する。  
 また、周辺のにぎわいを参道に繋げていくための回遊路線として修景する。  
 対象路線は歩道のない道路構成であり、舗装の仕上げを切り替えるなど、路肩部の通行帯区分の舗装表示による歩車共存型美装化舗装により、車両に対する注意喚起とともに、沿道景観に配慮した美装化舗装とし、歩行者も安心して通行できる路線にする。



※参考イメージ

②③参道路線（階段）（歩行者中心）の修景イメージ  
 宝山寺駅南側の未整備階段について、駅周辺の回遊性を高めるために階段修景する。  
 整備済参道路線と同等の階段舗装とすることで、調和ある回遊空間を生み出すものとする。



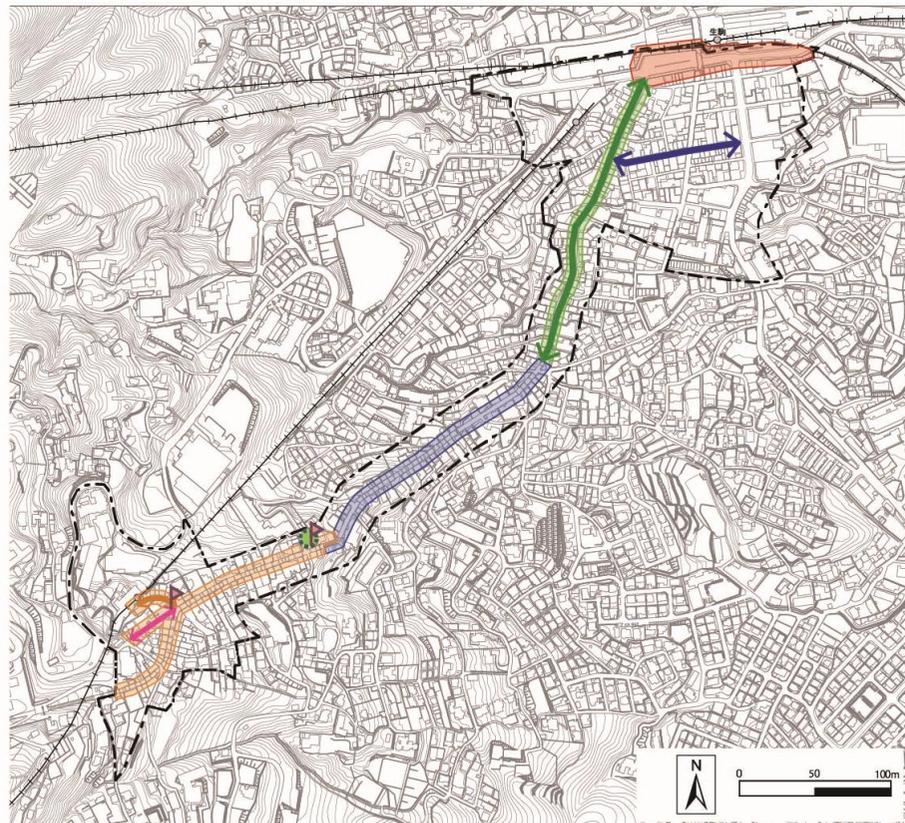
※参考イメージ

※整備済みの部分

④回遊動線（歩者共存）の修景イメージ  
 駅前のにぎわい形成のための回遊の主軸として、歩行者が安心してできる多様な回遊路線として修景する。  
 まちの顔となる歩行者空間として高質な美装化舗装とする。



※参考イメージ



## サイン整備イメージ

●歩行者を適切に地区内外へ導くため、主要辻部等に案内誘導サインを配置する。



※参考イメージ

## 小公園整備イメージ

●参道沿道の公園において、参詣の際の休憩の場、まちの情報を得る場、憩いの場として再整備する。



※参考イメージ

## 整備方針図凡例

- ↔ ①参道路線（歩者視覚分離）
- ↔ ②参道路線（階段）
- ↔ ③参道路線（歩行者中心）
- ↔ ④回遊動線（歩者共存）
- ▶ 案内誘導施設整備
- ⊙ 小公園施設整備



①参道路線（歩者共存）の修景イメージ



②参道路線（階段）の修景イメージ



③参道路線（歩行者中心）の修景イメージ



④回遊動線（歩者共存）の修景イメージ

これからの予定

# これからの取組(予定)

- 街なみ環境整備事業計画策定と景観計画改定を並行して検討する

